

# 令和3年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	土木フェスティバル in NAGAOKA	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

## 1. 事業目的

本事業は、産・官・学の優れた土木・防災技術を市民に「見て」「ふれて」もらうことを通じて、道路・河川・公園・まちづくりなど次世代に残す社会資本整備の意義、私たちの暮らしを支える土木・防災技術への理解を促すとともに、「土木」に対するイメージアップを推進することを目的とする。

## 2. 事業実施体制

主 催：土木フェスティバル実行委員会

国土交通省信濃川河川事務所・湯沢砂防事務所・長岡国道事務所・北陸技術事務所  
 ・国営越後丘陵公園事務所、新潟県長岡地域振興局地域整備部、長岡市土木部、  
 東日本高速道路(株)長岡管理事務所、(一社)新潟県建設業協会長岡支部

協 賛：(一社)北陸地域づくり協会

協 力：長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、(一社)新潟県測量設計業協会、  
 長岡地区土木振興会

後 援：長岡造形大学、(公社)土木学会関東支部新潟会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、  
 (一社)日本建設機械施工協会北陸支部

## 3. 事業概要

日 時：令和3年10月10日(日) 9:30～16:30

場 所：国営越後丘陵公園

実施概要：

- ① 屋内会場「花と緑の館」
  - ・VR体験、パネル展示など
- ② 屋外会場「緑の千畳敷」
  - ・建設・除雪機械の展示・実演・乗車体験
  - ・地震・降雨・土石流体験

参加者：7,883人(公園来場者数)

## 4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は「土木の日」(11月18日)の関連イベントとして開催しており、今回で31回目。土木や防災に関わる地域の産官学が連携し平時からの協力体制を育むとともに、体験型のプログラムを主体とすることで、一般市民が社会資本整備の重要性や防災・減災への意識づけについて実感しやすくなっている。

また、会場が越後丘陵公園のため家族連れも多く、近年課題となっている「担い手確保」の側面からも効果が期待される。



小型ロータリ除雪車 ↑  
排水ポンプ車・照明車 →



VR体験



降雨体験装置 ↑  
土石流模型実験 →

